


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第59回日本植物学会
演題名	レーザーマイクロダイセクション法を用いた植物組織癒合部の遺伝子発現解析
発表者	○中野渡幸※、島田菜美※、名城やよい※、仁平彩也香※、 <u>松岡啓太</u> 、佐藤忍、 <u>朝比奈雅志</u> (植物生理学研究室)
内容	本研究では、レーザーマイクロダイセクション (LMD) 法を用いて、より限られた組織・細胞レベルでの遺伝子発現解析を行うことを目的とした。シロイヌナズナ切断花茎を川本法に従ってクリオスタットで凍結切片を作成し、LMDを用いて組織癒合部周辺の組織を回収した後、リアルタイムPCRによる遺伝子発現解析を行ったところ、癒合部周辺の組織において、ANAC071やRAP2.6L等の転写因子や植物ホルモン関連遺伝子などの部位特異的な発現が確認された。以上の研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業、科学研究費補助金(若手B)による支援を受けて行ったものである。
関連画像	 <p>研究に使用したレーザーマイクロダイセクション装置</p>